

キャンパス

NOW

志願者数急上昇 大阪電気通信大学

大阪電気通信大の寝屋川キャンパスが生まれ変わりつつある。コナミスポーツ社長を務めた大石利光さん(65)が2016年4月に学長に就任し、教職員とともに大学改革に取り組みはじめた4年半。その成果と進む道は、新たな学舎の空間に現れているという。大石学長に変革の軌跡を聞いた。【安部拓輝】

トップに

聞く



寝屋川の開拓から40年の間、迷走で続っていました。2003年には日本の半数の大学が買収割れすると予測されてしましました。大学の魅力を活かして志願倍率上げ、偏差値アップを図らない生き残れないことをみんな分かっていました。そこで私は「4年間で偏差値上げ」を掲げました。

当初は現場から「何を言い出すのか」という声も聞こえました。

がつ年後には約8000人、今年は1万人を越えました。実際には20年度試験の偏差値は平均で1.5点上がっています。目標が形になる達成感をつかない、次なる目標に向かう意欲であります。

ここで金子学部の教員が年々回取入れました。金子学部は電気電子系と機械系は一緒に仕事をし、他の学部は各自の専門で研究室では手術室や集中治療室での医療機器が不可欠。スポーツや介護・福祉の世界でもICTで機器を使って人間の動作を解析し、そのデータを読み解く知識が必要になります。機械系では最新鋭の3Dプリンターを備え、設計から製造まで一貫して学びます。製造業に携わった技術者が実験をサポートしながら現場の経験を伝えています。

本学では医療学科や健康スポーツ学科の学生も基礎科目の中でICTを学ぶカリキュラムを組んでいます。医療の現場では手術室や集中治療室での医療機器が不可欠。スポーツや介護・福祉の世界でもICTで機器を使って人間の動作を解析し、そのデータを読み解く知識が必要になります。機械系では最新鋭の3Dプリンターを備え、設計から製造まで一貫して学びます。製造業に携わった技術者が実験をサポートしながら現場の経験を伝えています。

ワンチームで魅力向上

したが、どうやったら達成できるかを考えよう。学長に就任した16年度から1泊2日研修会を開いて議論を始め、向こう15年の中期計画を作つて実現への手順を定めました。総志願者数は2017年には約38800人でした。

寝屋川、四條畷など、それなりのキャンパスにいる教員が集うことがなかった。そ

ではなく、要素を現場に示して、ここだらりました。2016年6月に半分が完成し、22年春に残りができるれば、長さ1.3kmの「フルーフ」が生むべき社会の課題や新たなニーズを見つけ、学部や学科を超えて挑戦する学生を鼓舞するため、研究交流会も企画しています。我々の大学は、実力を最大限に發揮するため、多くの学生からヒントを得る、ともに人間力を高めていく大学にしたいと考えています。

小学校でプログラミング教育が導入されました。学

校をはじめ社会に出ても情報技術を扱う機会が増えていきますね。18年度に設立した「ICT

社会教育センター」は、本学での講習を広く地域で役立てることを目的にしています。地元の寝屋川市や四條畷市、守口市や大阪市などは教員を派遣して情報技術の授業を支援しています。「大阪電気通信大学があつたよかつた」と思ってもらえる活動を続けたいと思います。

学部超越 フルオープンな新学舎／情報系学部以外もICT教育充実

？ 我々も課題を探求し、学生とともに学び続けたいと思っています。

？ そのために何が必要か？ 情報技術は加速的に進歩しています。進化の先の社会を見据えた実学を伝える、働く人間力を養う大学でありたい。そのために何が必要か？

？ 我々も課題を探求し、学生とともに学び続けたいと思